

シンポジウム

苦難と不条理の中で いかに聖書を読むか

『3.11以降の世界と聖書 言葉の回復をめぐる』(青山学院大学総合研究所叢書)の刊行を記念して

2016年3月、青山学院大学総合研究所プロジェクトの成果刊行物として『3.11以降の世界と聖書』(福嶋裕子、大宮謙、左近豊、スコット・ヘイフマン 編著)が、日本キリスト教団出版局より刊行されました。このたび本書の刊行を記念するシンポジウムを開催します。東日本大震災、熊本地震はもとより、全世界を包む苦難と不条理の中で、いかに聖書の御言葉に聴き、祈るか、と一緒に道を求める時としたいと願います。

発題者

大宮 謙 (青山学院大学 准教授・宗教主任) 左近 豊 (美竹教会 牧師)

福嶋裕子 (青山学院大学 准教授・宗教主任)

予定プログラム

第一部 発題

I 伝わらぬ哀しみを抱えて——哀歌の場合

II 苦しみと奇跡物語のはざままで

第二部 共同討議「苦難の中で聖書を読むとはどういうことか」

第三部 祈りと黙想のとき



A5判 上製・210頁・本体1700円+税

2016年7月1日(金) 18～20時 (開場17時半)

日本キリスト教団 ^{み た け} 美竹教会にて

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目17-17

JR渋谷駅東口から徒歩5分 **入場無料**

学生、信徒、教職を問わず、どうぞご参加ください！

主催：シンポジウム「苦難と不条理の中でいかに聖書を読むか」実行委員会

共催：青山学院大学総合研究所キリスト教文化研究部、日本キリスト教団出版局

☆ 資料の準備がありますので事前にお申し込みいただければ幸いです。

申込先・連絡先：日本キリスト教団出版局 出版第一課

171-0042 新宿区西早稲田 2-3-18-41

Tel 03-3204-0424 Fax 03-3204-0457

shoseki2@bp.uccj.or.jp

